

# 卒業生からのメッセージ

お待たせしました～。第9号は山内先生がお届けする株式会社静岡第一テレビでアナウンサーとして活躍中の松原大祐さんです。

勉強もできるし、誰にでも優しいし、非の打ちどころがない。といえば、松原さんだろう。すなわち、男女問わずみんなが憧れる理想の爽やかイケメン！  
【とって来た、いや、憧れて来た友人 Y (もちろん今も憧れの存在)】

\*\*\*\*\*

皆さん初めまして。中津高OBで2006年卒業の松原大祐と申します。

私は今、静岡県内のテレビ局に勤務しアナウンサーとして働いています。進路選択の時期を迎えたみなさんの参考に少しでもなればと思い、今回、私自身の高校生活や、その後の進路選択、そして今現在の職業についてお話できればと思います。

私も皆さんと同じように、中津高に入学し、部活は野球部に入って3年間をここで過ごしました。当時の自分がどんな学生だったかといえば、特に目立つこともなく、体育祭や文化祭に積極的に参加するようなリア充でもなく(笑)、野球とゲームが大好きな普通の高校生でした。将来については、周りもみな進学を目指す子が多かったこともあり、自然な流れで自分も大学に進学するつもりで勉強していました。ただ一つ考えていたのは、どうせ進学するなら、東京や大阪など自分の知らない大都会にでて、高校時代にはできなかったリア充生活を送ってみたいということだけでした。私が学生の頃は地元に映画館がなく(今もそうですかね?)話題の映画を見るためには、わざわざ電車に乗って隣の県まで行って、名古屋の映画館で見なければいけませんでした。こんな経験も私の中の「都会への憧れ」をより一層



をより一層

強くさせ、せめて大学生活の4年間くらいは大都会で生活してみたいと思うようになっていったのを覚えています。ただ、当然そんな理由では親を納得させることはできません。岐阜県内やお隣の愛知県にも大学はたくさんあるなかで、どうやったら親を納得させて、東京や大阪の大学に行くことができるか。それはやっぱり、少しでもネームバリューがあり難関として知られる「有名大学」に進学するか経済的負担の少ない「国公立」に進学するかです。そうになると、やっぱり普段の勉強も頑張らなければ、絶対に合格できません。でも私にとってはこれがモチベーションになり、決して好きではない勉強も頑張ることができました。私のように多少ふざけた理由で大学進学を考えていてもそれが自分にとって勉強を頑張れるモチベーションになるのであれば、他の人からなんとと言われてもその気持ちは大切にしたいほうが良いです。おそらく皆さんもこれまでの人生の中で地元から出たことがないという人がほとんどだと思います。私自身も18歳までずっと岐阜県内で過ごしてきました。県外に出て生活するということがまだはっきりとイメージできないと思いますが、私からのアドバイスとして「一度は地元を離れて



違う世界に足を踏み入れる」ことをおすすめします。それは大学進学に限らず、就職でも、専門学校でもどこでもかまいません。私の場合は東京の大学に進学しましたが、そこで全国各地から集まった同級生たちと友達になり交友関係が一気に広がったり、日本の最先端が集まっている東京で色々なところに出かけ、遊んで、勉強したりして、本当に視野が広がりました。自分が知らない世界にあえて飛び込んでみることで、そこから見えてくる新しい価値観や刺激がたくさんあります。皆さんにはぜひそれを経験してもらいたいと思います。それを経験したうえで「将来は地元に戻って働きたい」と思ったのならそれはそれで素晴らしいことだし、違う世界を経験したからこそ見えてくる地元の良さという



のも必ずあります。私のように、こんなふざけた理由であっても飛び込んでみたら道は開けたので、皆さんも今すでに大きな目標や夢があるのならその道に向かって飛び込めるように自分なりの努力を続けてほしいと思います。皆さんにとってこの進路選択の時期というのは、人生における一つのターニングポイントになるので、ここで大きな後悔がないような決断をしてほしいと思います。そんな学生生活を経て、いま私はテレビの世界でアナウンサーという職業に就いています。

この仕事も実は、高校時代の自分自身の選択からすべてつながっています。受験では青山学院大学と大阪府立大学に合格し、どちらの大学にすべきかということになったのですが、当然親は学費の安い大阪府立大学を進めてきます。ただ、僕の中では青山学院大学一択になっていました。理由はキャンパスのオシャレさです(笑)当時受験した大阪府立大学のキャンパスは校舎の感じが当時の中津高みたいでした(笑)一方の青山学院大学のキャン



パスはテレビドラマの撮影が行われるようなオシャレできれいなキャンパスでした。この圧倒的な差を見て、「絶対青学で4年間を過ごす！」と確信しました。ただ、ここもそんな理由では親を納得させることはできないので、親には「4年後の就職を考えた時に、青学にいたほうが就職説明会にも行きやすいし、東京にいるから色々な情報も収集できて絶対有利だから、青学に行かせてくれ！」と言って納得させました(笑)そして東京の大学に進学して4年間を過ごすことになるのですが、この時のアルバイト先としてテレビ局でアルバイトをしたことがきっかけで、今の職業に繋がりました。アルバイト先のテレビ局では、プロ野球中継のスタッフの一員として試合のスコアを書いて記録するのが主な仕事だったのですが、ここで、アナウンサーの方が解説者と一緒に試合の実況をしている姿を目の当たりにしました。いつも家のテレビで見ていたプロ野球中継とは全然違い、目の前でアナウンサーの方が試合の実況をしている姿がすごく的確で、かつ臨場感があって「テレビで聞くのとこんなに違って聞こえるんだ！」と感動したのを覚えています。ここから「アナウンサーの仕事っておもしろそうだな」と興味が出てきました。さらに野球部だった経験を活かして、野球の実況がしてみたいという目標ができました。なので、いまはまだ将来の目標ややりたい職業が決まっていなくても何も心配いりません。私のように日々の生活の中で、気になった事やちょっと興味が湧くようなものをこれから少しずつ見つけ

ていけば大丈夫ですし、焦らなくてもまだ時間があるのでこれから数年かけてじっくり探しながら生活するのもありますよ。

さて、ここからはアナウンサーという仕事についてお話します。

皆さんはアナウンサーと聞くとどんな仕事を思い浮かべますか？

テレビ番組に出演し、司会などを務める姿が一番イメージしやすいでしょうか？

もちろんそれもありますが、それ以外にもアナウンサーの役割というのはたくさんあります。例えば、

- ◆野球やサッカーなど、スポーツの試合の実況
- ◆事件事故などが起きた現場から状況をレポートでお伝えする。
- ◆情報番組での司会や報道番組でニュースをお伝えする
- ◆様々な番組のナレーション

などなど、これらもすべてアナウンサーの仕事です。

情報番組などで楽しい話題をお伝えすることもあれば、取材で甲子園に出場したチームに密着し高校球児と一緒にひと夏を過ごしたり、また時には大きな災害や凶悪な事件が起きた現場から状況をお伝えするつらい役割もあつたりと、本当に幅広い役割があります。でもこれらすべてに共通する「伝える」という役割にすごくやりがいを感じて仕事していますし、伝え手として「どうしたらもっとわかりやすく伝えられるか」ということを考えながら更なるレベルアップを目指して頑張っています。

世の中には、本当にたくさんの仕事や職業があります。まずは色々なことに興味を持って、それらを知ることから始めてみてもいいかもしれません。自分が好きなことであつたり魅力を感じることであつたり。興味を持って楽しむことがその先に繋がっていると思うので、高校卒業後に思いっきり楽しく過ごすことをモチベーションにして高校生活も頑張ってください。

## ラグビーワールドカップ

